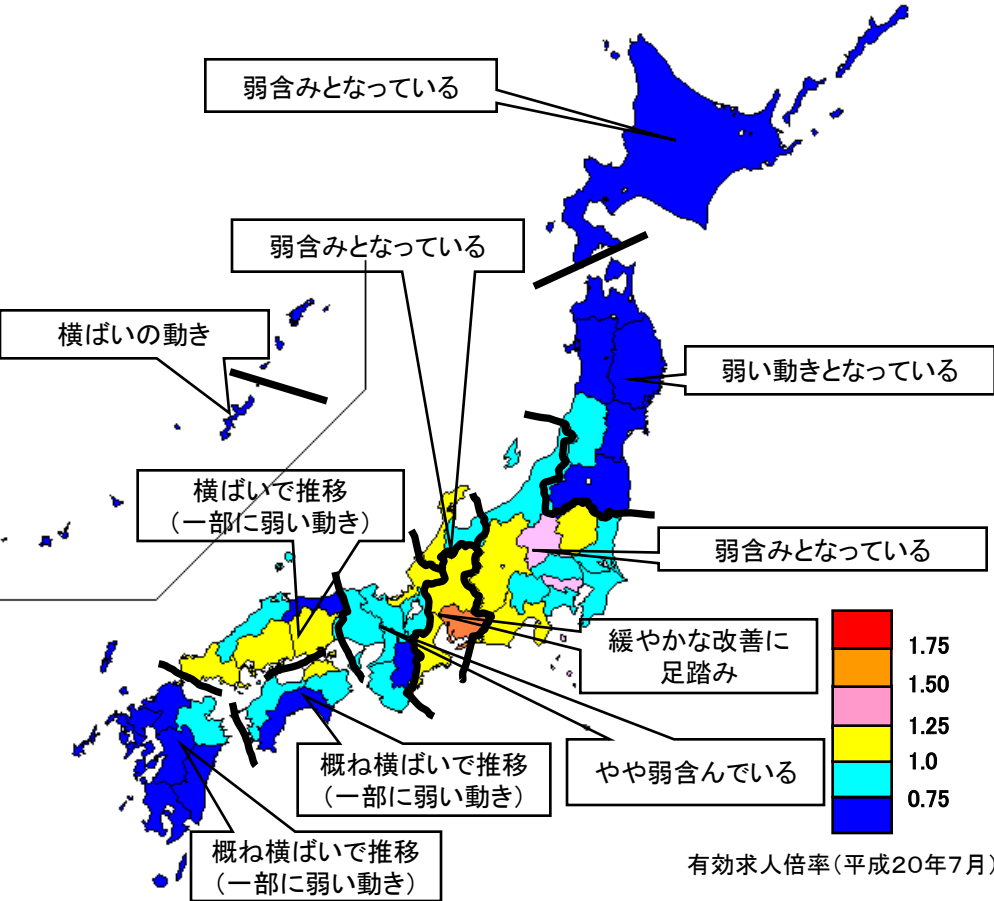


## 9地域で景況観が悪化し、景況判断を下方修正。(地域の景況は総じて弱い動き)

～ 原油価格高騰等の影響から、中小企業を中心に景況感等が悪化 ～

	19年10月 (第21回)	19年12月 (第22回)	20年2月 (第23回)	20年6月 (第24回)	20年9月 (第25回)
全国	→	↘	↘	↘	↘
	ばらつきがみられるもの引き続き改善傾向にある	緩やかな改善傾向にあるもの、ばらつきがみられる。	緩やかな改善傾向にあるものの、一部に弱い動きがみられる。	概ね横ばいで推移するも、一部に弱い動き。	ばらつきがあるものの総じて弱い動き

	19年10月 (第21回)	19年12月 (第22回)	20年2月 (第23回)	20年6月 (第24回)	20年9月 (第25回)	コメント	有効求人倍率 <small>(※全国平均 0.89)</small>
北海道	→	→	概ね横ばいで推移	概ね横ばいで推移 (一部に弱い動き)	↘	原油・原材料の高騰により、業況は厳しさを増す。灯油の需要期を控え、個人消費の更なる冷え込みを懸念。	0.51 (0.44)
	概ね横ばいで推移			弱含みとなっている			
東北	→	→	↘	→	↘	原油・原材料高により業況は弱い動き。生産は弱含み。雇用も低下傾向。消費マインド冷え込みで個人消費弱含み。	0.61
	緩やかに改善	(先行きに不透明感)	横ばいで推移	横ばいで推移	弱い動きとなっている		
関東	→	↘	→	↘	↘	原油・原材料高により業況が悪化。需要減から生産も弱含み。消費意欲の減退から、個人消費はやや弱い動き。	1.03
	緩やかに改善	緩やかに改善 (一部に弱い動き)	概ね横ばいで推移	弱含みとなっている			
中部(東海)	→	→	→	↘	↘	高水準ながら、生産や個人消費などの一部に弱い動きがみられ足踏み。設備投資や雇用にも弱い動き。	1.47
	緩やかに改善	緩やかな改善に足踏み	緩やかに改善 (一部に弱い動き)	弱含みとなっている			
中部(北陸)	→	→	↘	↘	↘	業況は弱含み。原油・原材料高から、企業収益に影響が出始めている企業もみられる。また、消費者の購買意欲も低下。	1.06
	緩やかに改善	緩やかに改善 (一部に弱い動き)	概ね横ばいで推移	弱含みとなっている			
近畿	→	↘	→	↘	↘	大型設備投資・アジア向け輸出が好調。個人消費・雇用にやや弱い動き。原油・原材料高により、企業収益が悪化。	0.88
	改善している	緩やかに改善	緩やかに改善 (一部に弱い動き)	やや弱含んでいる			
中国	→	↘	→	↘	↘	業況は、外需中心に堅調な業種はあるものの、総じて、原油・原材料価格の高騰によるコスト高などから、引き続き弱い動き。	1.06
	緩やかに改善	緩やかに改善 (一部に弱い動き)	概ね横ばいで推移	弱含みとなっている			
四国	→	→	↘	→	↘	原油・原材料高により、業況は一部を除き弱い動き。設備投資で規模の縮小、時期の先送りもみられ、個人消費も弱含み。	0.83
	緩やかに改善 (一部に弱い動き)	概ね横ばいで推移	概ね横ばいで推移	弱含みとなっている			
九州	→	↘	→	↘	↘	生産は概ね横ばいながら、原材料高により、業況感では中小企業で一段と悪化。消費は低調で雇用も全体に弱い動き。	0.63
	緩やかに改善	緩やかに改善 (一部に弱い動き)	概ね横ばいで推移	弱含みとなっている			
沖縄	→	→	↘	↘	→	観光需要は順調。原油・原材料価格の高騰が企業の経営環境を悪化。個人消費における節約志向の強まりを懸念。	0.39
	緩やかに改善	緩やかに改善 (一部に弱い動き)	概ね横ばいで推移	横ばいの動き			



※月間有効求人倍率 7月(季節調整値)資料 厚生労働省「職業安定業務統計」により作成